

広島修道大学

矢野 泉

広島修道大学 学長



三上貴教前学長の任期満了に伴い、4月1日付で広島修道大学学長に就任した。

矢野新学長は、1967年広島市生まれ。北海道大学大学院農学研究科、広島大学大学院生物圏科学研究科を修了し、1996年博士(農学)の学位を取得。同年広島修道大学商学部講師に着任後、同大助教授、広島大学生物生産学部助教授、同大学院生物圏科学研究科准教授を経て、2015年に再び広島修道大学商学部教授として着任。これまで大学院商学研究科長、ひろしま未来協創センター長、副学長を務めた。専門は農業

経済学。近年の主な著書は、『フードシステム』(筑波書房、2021年)、『農産物・食品の市場と流通』(筑波書房、2019年)等(いずれも共著)。農産物・食品市場の世界化と経済格差の関係性がもたらす問題の解決に取り組んでいる。

広島修道大学は、約300年の歴史をもつ修道学園の一員として「天命之謂性／率性之謂道／修道之謂教」という建学の精神の下、学生一人ひとりの個性を伸ばす教育を行い、多くの優秀な人材を輩出している。今後も学生や学問の多様性を尊重した教育に力を入れていく。

金沢星稜大学

大久保 英哲

金沢星稜大学 学長



篠崎尚夫前学長の任期満了に伴い、2022年4月1日付で、大久保英哲学長が就任した。大久保学長は2020年度に併設の金沢星稜大学女子短期大学の学長に就任しており、双方の学長を務めることとなる。

1950年青森県生まれ。1982年筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学修了。1997年博士(学術)。盛岡大学講師を経て、金沢大学助教授、教授。2015年同大学名誉教授、金沢星稜大学特任教授、2020年金沢星稜大学女子短期大学部学長に就任し2022年より現職。専門は体育・スポーツ史。「地

方からの日本体育史」をライフワークとする。「近代日本体育史における林正十郎」「木馬之書」(推定1867年)の意義」で日本体育学会賞(最優秀論文)。体育史学会会長歴任。『明治期比較地方体育史研究』『纏足から天然足へ…日本統治前期台湾の学校女子体育』『箱根駅伝を超えようとした幻の「能登駅伝」』ほか著書・論文多数。

スキー・スケート、テニスなどスポーツを趣味とするが、近年は伊能忠敬にあやかり「散歩学」にいそしむ。その折考えたことなどを大学Webサイトの「学長コラム」「学長室の窓から」で公開している。

桃山学院大学

なかの みつひこ
中野瑞彦

桃山学院大学 学長



牧野丹奈子前学長の任期満了に伴い、2022年4月1日付で中野瑞彦教授が学長に就任した。

中野学長は横浜市生まれ。1980年東京大学経済学部経済学科を卒業後、三井銀行（現三井住友銀行）に入社し、1987年にロンドン・ビジネス・スクールを卒業。2003年桃山学院大学助教授、2009年同教授、2018-19年に経済学部長、2020-21年に副学長を歴任した。専門は銀行システムの研究で、主な著書として、『Financial Crisis and Bank Management in Japan

(1997 to 2016)』(Palgrave Macmillan 2016)などがある。

桃山学院大学は、2022年度より「教育研究改革（第二次大学中期計画）」をスタートさせた。各学部の教育内容の充実とともに、IT時代に向けた社会人基礎力の養成、教員の研究力の更なる向上、保有する有形・無形資産の有効活用を目指す。

中野学長は、「少子高齢化が進む中で、大学の教育方針や学修の質が大変重要な要素になる。私は、桃山学院大学を、学生にとって真に魅力ある大学、学生の挑戦意欲を掻き立てる大学にしていきたい。」と語る。

武蔵大学

たかはし のりゆき
高橋 德行

武蔵大学 学長



山寄哲哉前学長の任期満了に伴い、2022年4月1日付で高橋德行経済学部教授・副学長が新学長に就任した。

高橋新学長は、1956年生まれで北海道出身。米バブソン大学経営大学院修了。国民生活金融公庫（現在の日本政策金融公庫）総合研究所の首席研究員を経て、2003年から武蔵大学教授となり、現在に至っている。専門はアントレプレナーシップ。国際調査プロジェクトであるグローバル・アントレプレナーシップ・モニターの日本チーム代表を2011年から務めている。主な著書には『起業学の基礎』などが

ある。趣味は日本酒の蔵巡り。

武蔵学園は、今年で創立100周年を迎え、近年力を入れてきたグローバル化の取り組みに加え、リベラルアーツ＆サイエンス教育に力を入れる。一般には文系の大学と呼ばれているが、文理融合の方針のもとで、自然科学やデータサイエンス教育などを充実させる。「ゼミの武蔵」の伝統を引き継ぎ、各学部や各学科で学んだ多様な専門知、世界の課題に取り組むために求められる総合知、それらを活かすために必要な他者と協働する力、実践力をもつグローバルリーダーを養成する。

大谷大学

いちらく まこと
一楽真

大谷大学 学長



木越康学長の任期満了に伴い、4月1日付で第29代学長に就任した。

大谷大学は東本願寺の学寮をその淵源とするが、1901年に初代学長の清沢満之によつて東京巢鴨に開かれた真宗大学から数えて120年の時を刻んできた。第2代学長の南条文雄、第3代学長の佐々木月樵と、一貫して仏教を中心とした人間教育を行つてきた。現在は3200名ほどの学生達が学んでいる。

一楽学長は石川県小松市の生まれで、1980年に大谷大学文学部真宗学科を卒業、同大学院を終えた後に、

短期大学部仏教科の助手に就任し、専任講師、助教授を経て、2009年より文学部教授を務めている。また、2018年の複数学部化に伴い設置された仏教教育センター長を2021年まで務めた。

専門は真宗学で、主要な課題は「親鸞の仏弟子論」である。仏の教えに出会ったところにどんな生き方が始まるのか、親鸞が掲げた浄土真宗を根本に据えて、仏弟子とは何かを尋ねている。

常識にとらわれず、問いを大切にし、確かな目をもった学生が育つ場としての大学であることを目指している。

立正大学

てらお えいち
寺尾英智

立正大学 学長



吉川洋前学長のあとを受けて、本年4月より寺尾英智学長が会員代表に就任した。寺尾学長は1957年千葉県生まれ。1980年立正

大学仏教学部宗学科卒業、1987年同大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。同年立正大学仏教学部助手に就任し、非常勤講師、専任講師を経て、1997年身延山大学仏教学部助教授となる。同大学教授を経て、2011年立正大学仏教学部教授。2013〜19年仏教学部長。本年4月より第35代学長を務める。

専門は日本仏教史・日蓮教団史。主な著書は『日蓮聖人真蹟の形態と伝来』（雄山閣、1997年）など。

立正大学では、本年の開校150周年に向けて、新学部の設置や、新校舎建設などのキャンパス整備を進めてきた。寺尾学長は、建学の精神として掲げてきた「真実・正義・和平」を基礎に据え、「価値観の多様化が進んだ現代社会だからこそ、複合的な学びを通して専門知と個性を融合させ、学生が自らの可能性の芽を開花させる教育」を進めたいと抱負を語る。

成城大学

すぎもと よしゆき
杉本 義行

成城大学 学長



戸部順一前学長の任期満了に伴い、4月1日付で杉本義行副学長が新学長に就任した。杉本新学長は1980年東京大学農学部を卒業後、同大学院農学系研究科

農業経済学専攻に進み、1983年千葉大学園芸学部を経て1996年成城大学経済学部助教授、2000年に教授に就任した。その後、教務部長、経済学部長を経て教育イノベーションセンター長兼副学長を歴任した。

専門は農業経済学、とりわけ農産物貿易、プロジェクト評価論等であるが、出口を見据えた専門教育の在り

方や汎用的能力の育成に関心を持ち、授業改善の取り組みにより京都大学高等教育研究開発推進センターのMOSTフェローに採択された経歴を持つ。

個性尊重の建学の精神から、多様性の重視、社会に開かれた教育、学習者主体のプレイフルな学びの3点をめざすと抱負を語り、その実現のために、学園各校を含めた学校、地域、社会や産業界等と連携して学生がワクワクして取り組める学びの機会を用意することに邁進している。趣味は居酒屋めぐり。

成蹊大学

もり ゆういち
森雄一

成蹊大学 学長



北川浩前学長の任期満了に伴い、2022年4月1日付で、森雄一氏が新学長に就任した。任期は4年。

森新学長は1967年愛知県生まれ。1990年東京大学文学部国語学専修課程卒業。1994年東京大学大学院人文科学研究所(国語国文学専攻)中途退学。茨城大学人文学部を経て、2000年成蹊大学文学部に着任。2017年から4年間、文学部長・文学研究科長を務めた。

専門は日本語学、認知言語学、レトリック論で、著書として『学びのエクササイズ

レトリック』、共編著として『認知言語学 基礎から最新線へ』、『認知言語学を紡ぐ』、『認知言語学を拓く』等がある。

成蹊教育の基本理念である「自発的精神の涵養と個性の発見伸長を目指す、真の人間教育」のもと、学生が知的にも人間的にも大きく成長できる場として成蹊大学をさらに発展させていくことを目指す。キャリア教育・支援、SDGs教育、データサイエンス教育などの先覚的な取り組みを大きく拡充させることを直近の課題として掲げる。

園田学園女子大学

大江 篤
おおえ あつし

園田学園女子大学 学長



川島明子前学長の退任に伴い、4月1日付で就任。任期は4年。

1961年神戸市生まれ。1988年3月関西学院大学院文学研究科日本史学専攻博士後期課程単位取得満期退学。博士(歴史学)。1996年、園田学園女子大学国際文化学部専任講師として着任後、未来デザイン学部、人間教育学部と異動し、2021年より経営学部教授。

この間、学生支援部長、教育学支援部長、企画運営部長を歴任。大学COO事業では、地域連携推進機構副機

構長を務めた。

専門は、日本史学・民俗学。東アジア恠異学会代表。

主要著書に『日本古代の神と霊』(単著)、『皇位継承の歴史と儀礼』(編著)、『怪異学講義―王権・信仰・いとなみ―』(共著)等がある。また、兵庫県文化財保護審議会など民俗文化財に係る委員を務める。

新学長は、開学以来、本学が大切にしてきた地域とのつながりを基盤に、「経験値教育」や「地域を志向した研究」を推進し、社会をきりひらく女性の育成を目指している。

創価大学

鈴木 将史
すずき まさし

創価大学 学長



馬場善久前学長のあとを受けて、2022年4月より鈴木将史教授が学長に就任し、会員代表を務める。

鈴木新学長は1959年東京都生まれ。1982年東京大学理学部数学科卒業、1989年同大学大学院理学系研究科博士課程単位取得満期退学。同年4月愛知教育大学助手に就任、その後助教授。2007年4月より創価大学教育学部教授。2012〜20年に教育学部長、2020〜22年3月まで副学長を務めた。

専門は数学と数学教育。主な著書に『小学校算数科

教育法』(編著)(建帛社、2018)などがある。

2021年に創立50周年を迎え、2030年への新たなブランドデザインのもと、教育・研究・SDGs・ダイバーシティの4つの柱で「価値創造を実践する世界市民」を育成する。特にスーパースローバル大学創成支援事業を継承し、世界市民教育の拠点として世界の大学・研究者とのネットワーク形成を目指す。「学生第一の伝統を守りつつ、人間の尊厳を基礎に平和を目指す建学の精神を、新しい時代にこそ輝かせていきたい」と抱負を語る。

東洋英和女学院大学

星野 三喜夫

東洋英和女学院大学 学長



池田明史前学長の任期満了に伴い、4月1日付で学長に就任した。

星野新学長は1955年千葉県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、東京銀行(現三菱UFJ銀行)入行。海外投融資情報財団等を経て、新潟産業大学教授、経済学研究科長、経済学部長、副学長、学長等を歴任。専門は国際経営、アジア経済、国際金融。著書に『「開かれた地域主義」とアジア太平洋の地域協力と地域統合』(APECの適切性と親和性についての実証的研究)、『パレード、2011年)他。

東洋英和女学院は1884年、カナダ・メソジスト教会(現カナダ合同教会)によって創設。神を敬い人に尽くす「敬神奉仕」の建学の精神を脈々と受け継ぐ。大学は1989年に開設。人間科学部・国際社会学部の2学部を擁する。

現代では、正解のない課題に向き合い、答えを見つけ出すことが求められている。本学の学生には、在学中に社会との接点をできるだけ多く持ち、疑問や問いを得て、その解決のために学ぶ学修経験を重ねてほしいと語る。

同志社女子大学

小崎 眞

同志社女子大学 学長



飯田毅前学長の任期満了に伴い、2022年4月1日付で小崎眞生活科学部教授が新学長に就任した。

小崎新学長は愛知県出身。同志社大学大学院神学研究科歴史神学専攻博士前期課程修了後、サンフランシスコ神学校において牧会学博士の学位を取得。2003年同志社女子大学助教授として着任し、2013年から同大学教授。2020年から学校法人同志社評議員、理事を歴任している。専門分野は実践神学。主な著書として『教科書「新島襄」』、『日本と中国を考

える三つの視点―環境・共生・新人文主義―』などの共著がある。

2026年に創立150周年を迎える本学は、将来構想VISION150を策定し、そのコンセプトを「21世紀社会を女性の視点で『改良』できる人物の育成」と定義した。本年度から、時代に合ったりベラル・アーツ教育の推進など、8つの中期目標を掲げ、女性の多様な可能性と生き方を尊重した女子総合大学として、さらなる発展を目指している。

東洋学園大学

辻中豊

東洋学園大学 学長



愛知太郎前学長（現理事長）のあとを受け、2022年4月1日付で辻中豊が学長に就任。辻中学長は1954年大阪生まれ。大阪大学法学部、同大学院博士課程を経て、博士（法学、京都大学）。北九州大学、筑波大学、東海大学等で合計41年教職を務めた。専門は政治学。市民社会と利益団体の国際比較研究プロジェクトを、15か国100都市を対象に50種類以上の実態調査で実施。成果として『現代世界の市民社会・利益団体研究叢書』3巻、『現代市民社会叢書』全5巻（木鐸社）、『政治変動期の圧力団体』（有斐閣）、

Aftermath: Fukushima and the 3.11 Earthquake(Trans Pacific)などの編著書がある。筑波大学副学長（国際担当）、IAU理事、日本政治学会理事長、東海大学副学長（文系担当）を経て、2021年9月より東洋学園大学評議員、理事。学長就任にあたり「教職員それぞれが、なにより生き生きとした活動をするところが大切。『自分』と『世界』を見つめ直し、自分を活かす探究を日々実践することで、学生が知的好奇心を持ち、個々の学生の可能性を伸ばす教育ができる、それが自強不怠の精神です」と抱負を語る。

国や企業が関心を寄せる大学のリカレント教育、あなたはご存知ですか？

私大連フォーラム
複雑化する社会における社会人の学びの新たな潮流とリカレント教育

YouTubeにて視聴無料

この時代の時代は、学校教育段階の学びで得た知識にとどまるのではなく、将来的なスキルアップや知識のアップデートを行い、生涯にわたり学び続けていくことが求められる。いま国や企業から関心を寄せられる大学のリカレント教育について、その存在を確認するとともに、これからの社会の形に合わせたリカレント教育のあり方について、私立大学の特色である多様性の観点から考えます。

配信動画

第一回：リカレント教育って何？
（講師）長口悦子（筑波大学、私大連事務局）

第二回：リカレント教育を取り巻く状況
●Speaker1 社会人の学び直し、生涯学習におけるリカレント教育
（講師）長口悦子（筑波大学、私大連事務局）
●Speaker2 企業が提供するリカレント教育
（講師）長谷川悦子（山形県立大学、私大連事務局）

第三回：これからの時代に求められる大学のリカレント教育
●Speaker1 筑波大学 国際学部 学部長 長谷川悦子
●Speaker2 山形県立大学 国際学部 学部長 長谷川悦子
●Speaker3 山形県立大学 国際学部 学部長 長谷川悦子
●Speaker4 山形県立大学 国際学部 学部長 長谷川悦子

私大連フォーラム2021
複雑化する社会における
社会人の学びの新たな潮流と
リカレント教育

- ◆ そもそもリカレント教育って何？
- ◇ 最近話題の「リカレント教育」、でも今に始まったわけではない！？
- ◆ 日本では諸外国よりも、社会に出た後の学びの機会が少ない？
- ◇ 企業が提供する研修と何が違う？

その答えはYouTube私大連チャンネルにて無料公開中。

【YouTube私大連チャンネル】
https://www.youtube.com/channel/UCkudd_TH7egKAcqKHqG5A



日比野 英子(ひびの えいこ)

京都橘大学学長。同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得後退学。'12京都橘大学健康科学部長・教授。'19より現職。専門は心理学、臨床心理学。

北島 己佐吉(きたじま みさよし)

九州産業大学学長。'73九州芸術工科大学卒業。日産自動車(株)を経て、'03九州産業大学芸術学部教授。同大学キャリア支援センター所長等を歴任し、'21より現職。

守屋 普久子(もりや ふくこ)

久留米大学学長直属特命講師。久留米大学大学院医学研究科卒。博士(医学)。久留米大学泌尿器科学講座、同病理学講座を経て、'20より現職。

Oussouby Sacko(ウスマ・サク)

京都精華大学全学研究機構長。'18～'22同大学長を経て現職。京都大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。主著『アフリカ出身サコ学長、日本を語る』など。

森川 美絵(もりかわ みえ)

津田塾大学総合政策学部教授。東京大学大学院総合文化研究科博士課程。博士(学術)。'17より現職。主著『介護はいかにして

「労働」となったのか』など。

麻生 享志(あそう たかし)

早稲田大学理事、国際学術院教授。ニューヨーク州立大学バッファロー校博士課程修了。博士(比較文学)。主著『ポストモダンとアメリカ文化』、『ミス・サイゴン』の世界』など。

松田 美佐(まつだ みさ)

中央大学文学部教授、'96東京大学大学院人文社会科学系研究科博士課程修了。主著『うわさとは何か』など。

高倉 弘喜(たかくら ひろき)

国立情報学研究所教授、ストラテジックサイバーレジリエンス研究開発センター長。'95京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。'15より現職。

土屋 大洋(つちやまとひろ)

学校法人慶應義塾常任理事、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授。'99慶應義塾大学大学院後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。主著に『サイバークレートゲーム』など。

岡村 耕一(おかむら こういち)

九州大学サイバーセキュリティセンター長。'14

から現職。主なプロジェクト「安全なIoTサイバー空間の実現」(SICCOP「国際共同研究拠点(インド)・ICT領域」)。

池田 勝(いけだ まさる)

学校法人近畿大学経営戦略本部デジタル戦略室長。'90学校法人近畿大学入職、財務課長、水産研究所事務長、総合情報システム部次長を経て、'21より現職。

中嶋 卓雄(なかしまたくお)

東海大学学長補佐(情報統括担当)、理系教育センター所長、教授。博士(工学)。熊本大学、九州東海大学を経て、'17から学長補佐、現在に至る。

高橋 陽子(たかはし ようこ)

東京電機大学総合メディアセンター事務部長、TDUCSSIRTTCSIRTT長。

規矩 大義(きくひろよし)

学校法人関東学院理事長、関東学院大学理工学部教授。'93九州工業大学大学院工学研究科博士後期課程修了。建設会社研究員等を経て、'02より関東学院大学。学長を経て、'21理事長就任。

紺田 広明(こんだひろあき)

福岡大学教育開発支援機構准教授。'16関

西大学大学院心理学研究科博士後期課程修了。博士(心理学)。関西大学教育推進部を経て、'22より現職。

丹田 桂太(ただんだけいた)

福岡大学教育開発支援機構研究員。'20東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。修士(教育学)。

大樂 尚紀(だいらくなおき)

共立女子大学・共立女子短期大学企画課教学企画グループ。'13入職、教務課、総合企画室を経て、'20より現職。これまで、I-Rの他、教養教育、FD、将来構想、中期計画、各種教学改革を担当。

田中 秀典(たなかひでのり)

宮崎大学I-R推進センター准教授。'06鹿児島大学大学院連合農学研究科修了。博士(農学)。'17より現職。

川妻 篤史(かわつまあつし)

桐蔭学園中等教育学校・高等学校カリキュラムマネージャー。'00京都大学大学院教育学研究科修士課程修了。修士(教育学)。

溝口 侑(みぞぐちゆう)

桐蔭横浜大学教育研究開発機構・I-R推進室特任講師。'21京都大学大学院教育学研

究科研究指導認定退学。修士(教育学)。

倉林 眞砂斗(くらばやしまさと)

城西国際大学副学長・観光学部教授。'86東京大学大学院人文科学研究科博士課程退学。修士(考古学)。金沢大学を経て、'92より城西国際大学。主著『石棺と陶棺』等。

岡村 光子(おかむらみつこ)

久留米大学医学部看護学科助教。修士(看護学)。'16より現職。

長岡 功(ながおかいさお)

順天堂大学医療科学部学部長・特任教授。'79順天堂大学医学部卒業、'83同医学研究科修了。博士(医学)。同大医学部教授を経て、'22から現職。『エンドトキシン・自然免疫研究』(共編著)他。

田澤 雄基(たざわゆうき)

慶應義塾大学イノベーション推進本部特任講師。医学部在学時代に起業した経験を活かし、'16の発足当時より健康医療ベンチャー大賞の実行委員長を務める。

宝島 格(たからじまたる)

名古屋学院大学商学部教授。'94東京大学大学院数理科学研究科博士課程修了。博

士(数理科学)。

森きよみ(もりきよみ)

拓殖大学工学部准教授。'82電気通信大学短期大学部(夜間)電子工学科卒業。'94東京工業大学にて博士(工学)取得。日本接着学会構造接着・精密接着研究会会長。

柴野大造(しばのたいぞう)

ジェラートマエストロ。'99東京農業大学農学部卒。'00能登町に「マルガージェラート能登本店」を開業。'17ジェラートの世界大会「Shetbeta Festival」でアジア人として初めて優勝。

川島 葵(かわしまあおい)

フリーアナウンサー。上智大学文学部卒。'12からフリー。東海ラジオ「TOKYO UPSIDE STATION」、川島葵の東京からも歌謡曲」などに出演。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長並びに副会長の決定について

役員任期満了に伴い、6月21日開催の第4回理事会において、会長・副会長を左記の通り選定しましたのでお知らせします。

任期は、令和4年6月21日から令和6年6月の定時総会終結時までです。

会長 田中愛治 早稲田大学総長
副会長 村田 治 関西学院大学長
副会長 曄道佳明 上智学院大学長

会長の動き

● 5月10日(火)

第2回常務理事会・第2回理事会に出席(ハイブリッド開催)

● 5月19日(木)

全私学連合代表者会議に出席

● 5月31日(火)

第3回常務理事会・第3回理事会に出席(ハイブリッド開催)

● 6月14日(火)

私大連役員改選選考委員会に出席

● 6月15日(水)

全私学連合会長らと塩谷立国会議員を表敬訪問

● 6月21日(火)

第1回総会・第4回理事会に出席(ハイブリッド開催)

『私立大学ガバナンス・コード』に関する
遵守状況報告結果の公表について

私大連では、『私立大学ガバナンス・コード』を策定後、初回となる会員法人からの遵守状況報告を令和3年度に実施し、本コードの記載に則り、「基本原則」及び「遵守原則」の遵守状況(取組状況)について、調査対象の全110法人より報告をいただきました。

このうち、令和4年3月末の時点で105法人(95%)が自主的にガバナンスの遵守(取組)状況の点検、確認を完了しており、未完了の5法人(5%)については引き続き私大連への報告に向けた検討に取り組んでいます。

会員法人の遵守状況については、各法人が自らのWebサイト等において任意で公表することとし、また私大連Webサイトでは、会員法人による取組を社会へ周知する趣旨から、会員法人が遵守状況を公開したWebページのリンクを集めたページを作成しています(リンクの作成を了承した法人のみ)(令和4年6月現在)。

▼各資料や開催の概要は、左記の私大連Webサイトをご覧ください。

私大連Webサイトにて

各種活動に関する情報を公開

<https://www.shidairen.or.jp/>



私大連 TOPICS

令和4年春の叙勲・褒章

(私大連事業関係者)

◆ 紫綬褒章

玄田 有史

(学習院元教授)

◆ 旭日中綬章

野島 正也

(文教大学学園理事長)

◆ 瑞宝中綬章

池尾 茂

(上智学院名誉教授)

加勢田 博

(関西大学名誉教授)

野村 豊弘

(学習院名誉教授)

お詫びと訂正

第404号「目次」において、「明日への試み」に掲載いたしました、國學院大學の原稿について、学部名を「観光まちづくり学部」とすべきところ、誤って「まちづくり学部」と掲載いたしました。ここに事務局よりお詫び申し上げます。

なお、大学時報Webサイトに掲載しておりますPDF版につきましては正しい表記にて掲載しておりますことを申し添えます。

座談会 「高等教育の修学支援新制度—成果と課題、未来に向けて—」

特集 「大学におけるVRの可能性」

小特集 「東京2020オリンピック・パラリンピックと大学」

だいがくのたから 東洋英和女学院大学

大学点描 武蔵大学

クローズアップ・インタビュー

大畑大介さん(元ラグビー日本代表、神戸製鋼コベルコスティーラーズ アンバサダー)

編集後記

◆ 昨今、関係府省庁から度々サイバーセキュリティ対策の強化に関する注意喚起が発出され、その脅威を身近に捉える機会が増えた。テレワークやクラウドの普及など、情報環境を取り巻くサイバー空間の状況は日々変化している。世界中でランサムウェアやマルウェアによるサイバー攻撃で企業の被害報告も後を絶たない。もちろん大学組織も例外ではなく、国内でも学内サーバーへの不正アクセスによって学生や教職員の個人情報流出が疑われる事案も発生している。サイバーインシデントに対応するには、情報セキュリティ対策の方針や規則を定めた上で教職員への教育や啓発活動が不可欠である。

本特集では、サーバー等々の組織運営でサイバーセキュリティの基盤構築や大学構成員に対する、意識向上の教育や訓練の事例を紹介した。個々人の情報セキュリティの重要性の理解と自覚を深めるため、経営マネジメントの観点からもリスク管理や最新情報の共有、学内外での連携協力が必要であろう。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・明治大学経営企画部広報課長 江津英昭〉

◆ 「連携」、「教職協働」、「効率化」、「ハブ」として機能」。これらのキーワードはすべて本小特集に記載されており、繰り返し使われている。各大学は教育の質向上のために様々なデータを収集し、改善を繰り返している。データの収集・集計方法を「効率化」し、あらゆる部局が「連携」しながら取り組むことの重要性を改めて意識するとともに、「ハブ」として機能する組織があり、「教職協働」で一丸となつて取り組んでいく姿勢が必要であることも強く実感する。

連携することの大切さは誰もがわかっているが、なかなか実行できないのが現状である。本小特集が各大学のIRデータ活用の推進につながることはもちろん、大学で働くすべての人々にとって連携や効率化の意義を再考するきっかけにつながれば幸いである。IRの活用そのものが「教育の質」向上に寄与することは各大学の事例を見ても疑いようのない事実であるが、IRを活用する手法や姿勢にこそ本当の意味で「教育の質」を向上させる真理が隠されているのではないだろうか。〈広報・情報委員会大

学時報分科会委員・法政大学多摩事務部多摩事務課課長 須藤智徳〉

◆ 様々なところでコラボレーション展開を見かけるキャプクター、キティちゃん。公式YouTubeチャンネルで、男性がキティちゃんを好きになるのはダメですか、との問いに力強く答えている。いまは女性のためだけのものというパブリックイメージから脱却できていないが、自分に関係なく、誰のどんな好きも否定されない・否定しないようになつてほしい、そのために頑張ると。*

ジェラートの新たな展開と可能性を知り、その発想と柔軟性に驚いた本号。座談会では、当たり前はそれぞれに異なり、そのことを認め合う重要性と、ダイバーシティを考へる際にはインクルーシブの視点も不可欠であることが指摘された。

多様性を標榜し体現する私立大学—これまで以上に、その当たり前について自問していく時を迎えているのかもしれない。〈日本私立大学連盟事務局 加賀崎奈美〉

※HELLO KITTY / ハローキティ【Sanrio Official】YouTubeチャンネルより
https://www.youtube.com/watch?v=5AcVIsRyyT4

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (123大学 令和4年7月20日現在)

| | | | |
|-----------|------------|--------------|-----------|
| 愛知大学 | 関西大学 | 南山大学 | 園田学園女子大学 |
| 亜細亜大学 | 関西学院大学 | 日本大学 | 大正大学 |
| 青山学院大学 | 関東学園大学 | 日本女子大学 | 拓殖大学 |
| 跡見学園女子大学 | 関東学院大学 | ノートルダム清心女子大学 | 天理大学 |
| 梅花女子大学 | 慶應義塾大学 | 大阪学院大学 | 東邦大学 |
| 文教大学 | 恵泉女学園大学 | 大阪医科薬科大学 | 東北学院大学 |
| 筑紫女学園大学 | 敬和学園大学 | 大阪女学院大学 | 東北公益文科大学 |
| 中央大学 | 神戸女学院大学 | 大谷大学 | 東海大学 |
| 中央大学 | 神戸海星女子学院大学 | 追手門学院大学 | 常磐大学 |
| 大東文化大学 | 皇學館大学 | 立教大学 | 東京医療保健大学 |
| 獨協大学 | 國學院大学 | 立正大学 | 東京女子大学 |
| 獨協医科大学 | 国際武道大学 | 立命館大学 | 東京女子医科大学 |
| 姫路獨協大学 | 国際基督教大学 | 立命館アジア太平洋大学 | 東京経済大学 |
| 同志社大学 | 駒澤大学 | 龍谷大学 | 東京国際大学 |
| 同志社女子大学 | 甲南大学 | 流通科学大学 | 東京農業大学 |
| フェリス女学院大学 | 久留米大学 | 流通経済大学 | 東京情報大学 |
| 福岡大学 | 共立女子大学 | 西武文理大学 | 東京歯科大学 |
| 福岡女学院大学 | 京都産業大学 | 聖学院大学 | 東洋大学 |
| 福岡女学院看護大学 | 京都精華大学 | 成城大学 | 東洋英和女学院大学 |
| 学習院大学 | 京都橘大学 | 聖カタリナ大学 | 東洋学園大学 |
| 学習院女子大学 | 九州産業大学 | 成蹊大学 | 豊田工業大学 |
| 白鷗大学 | 松山大学 | 西南学院大学 | 津田塾大学 |
| 阪南大学 | 松山東雲女子大学 | 聖路加国際大学 | 和光大学 |
| 広島女学院大学 | 明治大学 | 清泉女子大学 | 早稲田大学 |
| 広島修道大学 | 明治学院大学 | 聖心女子大学 | 山梨英和大学 |
| 法政大学 | 宮城学院女子大学 | 専修大学 | 四日市大学 |
| 実践女子大学 | 桃山学院大学 | 石巻専修大学 | 四日市看護医療大学 |
| 上智大学 | 桃山学院教育大学 | 芝浦工業大学 | |
| 城西大学 | 武蔵大学 | 白百合女子大学 | |
| 城西国際大学 | 武蔵野大学 | 仙台白百合女子大学 | |
| 順天堂大学 | 武蔵野美術大学 | 昭和女子大学 | |
| 金沢星稜大学 | 名古屋学院大学 | 創価大学 | |

大学時報

University Current Review

2022/7月号

第71巻405号(通巻418号)

令和4年7月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 植木朝子(同志社大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20

明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-9

KEC銀座ビル9階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学学事局学事センター事務長)
依藤康正(関西大学総合企画室広報課長)
楊心来(関西学院広報室広報室長)
塩原良和(慶應義塾大学法学部教授)
江津英昭(明治大学経営企画部広報課長)
長野香(立教学院広報室長)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学魅力化推進部長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
鈴木宏隆(早稲田大学広報室長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
佐藤諒(日本私立大学連盟事務局)
森下真帆(日本私立大学連盟事務局)

